

平成 21 年 11 月 30 日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

TOYO RUBBER (MALAYSIA) SDN. BHD. が Showa Rubber (Malaysia) Sdn. Bhd. に社名変更し、当社グループに加入しました。

当社は、平成 21 年 10 月 13 日付にて、TOYO RUBBER (MALAYSIA) SDN. BHD. の株式を取得し子会社化する旨の開示を既に行っておりますが、今般、社名変更手続等現地関連当局との手続きがすべて完了し、Showa Rubber (Malaysia) Sdn. Bhd. (以下、「SRM」という。)として再出発することとなりましたので改めましてお知らせいたします。

(Showa Rubber (Malaysia) Sdn. Bhd. <http://www.showarubber-my.com>)

当社は、今期 5 年後の売上 100 億円を目指した中期経営計画 (2009-2011 年) を策定しており、その方針のひとつに海外展開を掲げております。この度の SRM の子会社化はその計画の一環として推進したものであり、当社グループが海外・アジア展開していく拠点となることを期待しております。

(中期経営計画 2009-2011 年 <http://www.showa-holdings.co.jp/company/irfile/sg20090604.pdf>)

SRM が主たる事業としているライニングにつきましては、さまざまな産業分野におけるプラント施設を安定稼働させる為には必須の技術であり、国内においては当社の主力事業でもあります。SRM の子会社により、今後の経済発展に伴い新規プラント建設の進む東南アジアにおいて、当社の持つ 120 年の社歴と施工実績の中で培った独自のゴム配合やノウハウが発揮できる場が得られたことは、当社グループにとって非常に大きな意味があることであり、これはライニング事業のみに限らないことであると考えております。

当社は、この上期において、中期経営計画に基づき営業・開発人員を増強することで「傾聴力の向上」と「新材開発」に努め、又、スポーツ事業においては、テニス教室の買収やウェア等硬式テニス事業の再開を果たす等経営改善に努めて参りました。その結果、4 年ぶりに営業キャッシュ・フローが黒字化することができました。

まだまだ計画は道半ばではありますが、業績の向上と 5 年後売上 100 億円の中期経営計画の達成に向けグループ全社一丸となって全力で努めて参る所存です。

※ 詳細につきましては、代表執行役最高経営責任者挨拶を合わせてご覧下さい。

(http://www.showa-holdings.co.jp/company/message_ceo.html)

以 上